

1. システム概要

本システムは電気錠扉2箇所を対象とします。
 ・電気錠扉2箇所を連動し、インターロック制御します。
 ※他社との連動に関しては、別途打ち合わせが必要です。

- 電気錠操作盤 (BAN-DS2) を1台設置し、電気錠扉2箇所をインターロック制御します。
 電気錠操作盤 (BAN-DS2) は、
 - 電気錠2回線をインターロック制御します。
 - 各扉 (電気錠) の状態 (扉の開閉、施錠錠、警報) を操作盤面に表示します。
 - 盤面操作により各扉 (電気錠) を回線毎に「施錠保持または解錠保持 (UまたはLモード運用時)」できます。但し、インターロック制御中に、盤面上で操作するとインターロック制御が出来なくなります。
 - 火報盤からの火災発報信号により、制御している扉 (電気錠) を一斉に解錠します。
 復旧方法は、火報入力切れた後、全扉を閉扉状態にし施錠操作 (キーで施錠、もしくは解錠ボタンを押す等) することでインターロック制御状態に戻ります。

2. システム系統図

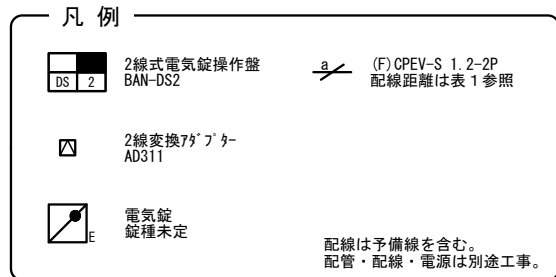
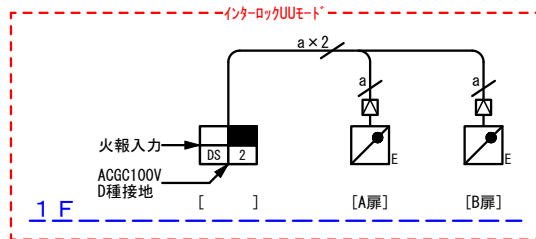
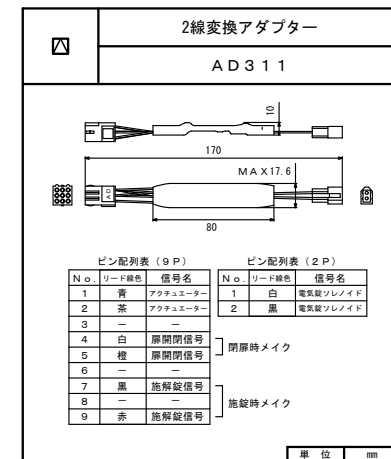
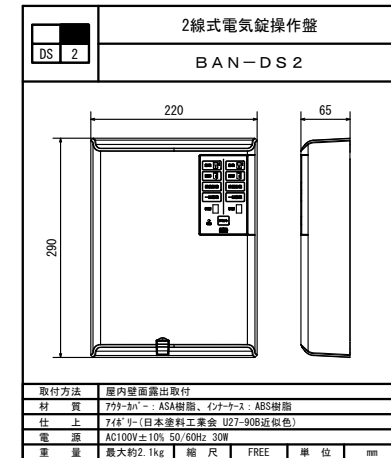


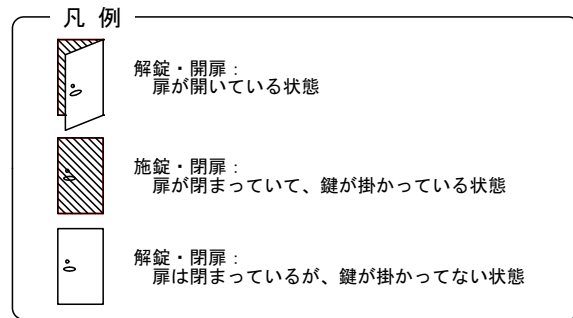
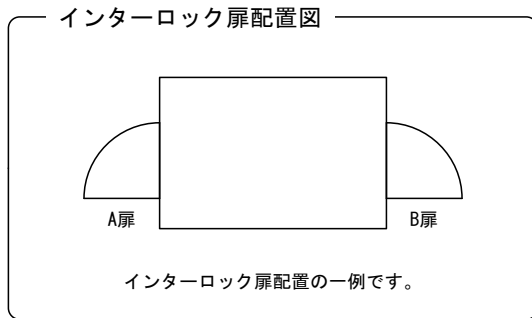
表 1

配線距離
適用：BAN-DS1, BAN-DS2

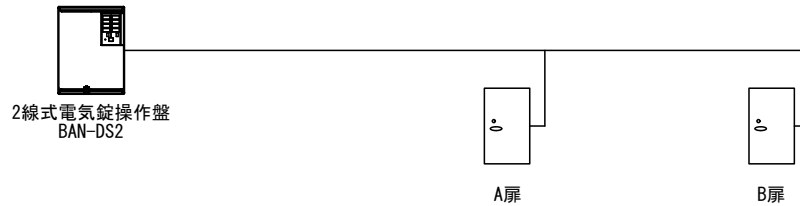
電気ストライク 電気錠 線径	電気錠～操作盤間 (m)				
	ALS ASE	AL4M ALN AFG	ALA ANS ALG50 AUS	AMS, AUT/R (A) ALGT/R50, APPT/R (A) APBT/R, EM2L600 EL-101, AST/R, AD219	ASZ
DENコード 9C (断面積 0.3 mm ²)	10	20	30	40	60
0.65 mm	20	25	50	60	75
0.9 mm	40	40	80	120	120
1.2 mm	60	60	120	180	180

3. 外観図

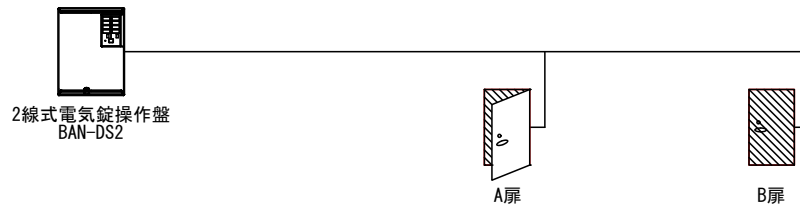




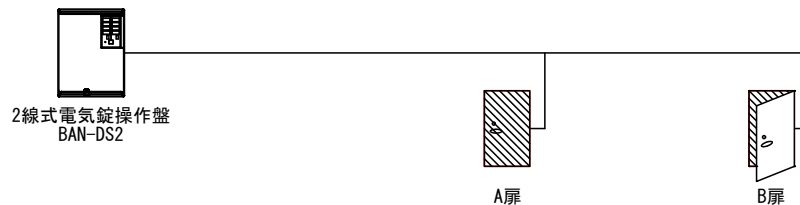
1) 通常、待機時(A・B扉、全て閉扉の時)、全ての扉は解錠しています。(初期状態)



2) A扉を開扉すると、B扉は施錠します。
A扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



3) B扉を開扉すると、A扉は施錠します。
B扉が閉扉すると、初期状態に戻ります。



4) 火報信号を入力すると、全ての扉は一斉解錠し、インターロック制御しなくなります。
火報信号が切れ全ての扉が閉扉し、施錠操作(キーで施錠もしくは解錠ボタンを押す等)すると
インターロック制御に戻ります。



※2線式電気錠操作盤の盤面操作は
行わないでください。
インターロック制御が崩れます。

※複数の扉を同じタイミングで開扉させると、
2扉以上開扉する事があります。